

平成28年度「見える」安全活動コンクール

■ 災害事例検討会の実施

作業員の安全教育の一貫として、『対話型』の災害事例検討会を開催しています。

従来、他作業所で発生した災害事例を現場内に掲示することで作業員に伝達していました。しかし、確実な周知・徹底には至っていないと考え、プロジェクターとスクリーンを用いて休憩時間に「災害事例検討会」を月2回開催しました。

JV職員からの一方的な伝達のみならず、該当する職種の作業員に対し、「このような災害を起こさない為に、どうすべきか」などと問いかけ、『対話型』で災害の防止に取り組みました。

従来の伝達方法



災害事例検討会の開催

十分な『周知』『徹底』とはいえない…



災害事例の掲示

